

第12回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 議事概要

1. 開催日時：令和7年10月28日（火）15:00～15:30

2. 開催場所：福井合同庁舎 5階 502会議室

3. 出席者：福井県 土木部長 平林 透

土木部理事 岩男 忠明

土木部副部長（防災・特定事業） 三田村 佳紀

道路建設課長 伊戸 康清

近畿地方整備局

道路部長 西野 毅

福井河川国道事務所長 野村 文彦

4. 議事：

○九頭竜・油坂間の事業進捗等について、下記の通り確認した。

（事業進捗状況）

- ・ 国より九頭竜・油坂区間における主な工事課題とリスク工事について報告があった。
 - 新子馬巣谷橋は、7月中旬から追加対策の抑止杭施工に着手し、開通に必要な抑止杭16本のうち10月23日現在で13本まで構築が完了。12本目以降、地盤が固く杭が圧入できない状況となり、有識者の助言を踏まえ設計変更を実施し工事継続中。
 - 大谷トンネルは、9月下旬に起点側の坑門、10月下旬にすべての覆工コンクリートの施工が完了。
 - 新下半原トンネルは、トンネル掘削に必要な設備の設置が完了し、10月下旬からトンネル入口部分を構築する作業を開始。工事課題については、前回監理会議から変更なし。
 - 新林谷橋は、工程遅延等のリスクが存在した上部工施工時に必要なベント杭の施工は9月下旬に完了し、9月上旬からは上部工の架設を開始。
- ・ また、国道158号大野市上半原での斜面崩落に伴う、工程への影響について報告があった。
 - 通行止めの影響により、新子馬巣谷橋の対策工事は1か月程度着手が遅延したため、今後の進捗状況を踏まえながら工程管理が必要。

（事業費等監理）

- ・ 大野油坂道路（九頭竜～油坂）について、新子馬巣谷橋の工事課題への対応や他工事への影響や、想定外の災害や現地状況の変化により、令和5年度の再評価時の想定と比較して、事業費が約450億円増額する。
- ・ 引き続き、想定と異なる事象が確認された場合は、その都度WG等を通じて速やかに情報共有を行うなど、国と福井県が連携して、事業費等の監理を徹底する。

○福井県から以下の要請があった。

- ・ 国からの報告内容について、現場視察の機会を設ける等、引き続き、情報共有を密に図っていただきたい。
- ・ 今後、想定と異なる事象が発生した際には、速やかに情報共有いただくとともに、コスト縮減や国土強靭化予算の活用等により、地方負担を軽減していただきたい。
- ・ 県民の早期開通に対する期待は高いため、工事の安全確保を前提に、引き続き、工程短縮の検討を進め、県内全線開通を一日も早く実現していただきたい。